

地域で支える仕組みがますます必要になります。 新たな「地域支援事業」に向けて

～これからは、地域において支援が必要な方々を住民や
高齢者の皆さんが支える担い手になることが求められています～

介護保険制度が見直され、市町村は介護保険「要支援者」に対して平成27年度から3年
間において独自の新地域支援事業に取り組み、対応しなければならないことになりました。
言い換えれば、浦添市独自の仕組みづくりが必要になったこととなります・・・

新地域支援事業では、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域自治会をは
じめ、地域で活動する様々な団体やボランティア、地域住民参加による支え合いの体制をつ
くることが必要とされています。

【生活支援活動やサービスの充実と住民や高齢者の社会参加推進のイメージ】

生活支援・介護予防サービス

- 必要に応じたサービス種別
- 住民主体、NPO、民間企業等多様な主体によるサービス提供

- ・地域サロンの開催
- ・見守り、安否確認
- ・外出支援
- ・買い物、調理、掃除などの家事支援
- ・介護者支援等

地域住民の参加

生活支援の担い手としての
社会参加

地域住民の皆さんの
積極的な参加が必
要となります!!



高齢者の社会活動

- 能力を活かした活動
- 興味関心がある活動
- 新たにチャレンジする活動

- ・一般就労、企業
- ・趣味活動
- ・健康作り活動、地域活動
- ・介護、福祉以外のボランティア活動等

そこで、市社協が目指す地域支援活動は、地域住民自らが問題意識を共有し、その地域に
合った解決方法を生み出すための一過性に終わらない話し合いや学習の場づくりを継続的
に支援することが必要と考えます。地域に対する支援は、断片的な取り組みだけでは効果が
薄く、支援が必要な高齢者や障害者を含め、見守りの体制を作るだけではなく、「ふれあい」
「助け合い」など豊かな地域社会づくりへの取り組みが不可欠です。それこそが、市社協の基
本理念である「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指した総合的な取り組みであ
り、コミュニティソーシャルワーカーや地域包括支援センターなどが中心となって進めることが
重要と考えます。

【地域支援事業推進に向けて強化する社協の地域活動】

●生きいき健康クラブ(市受託)

- ・介護予防を目的とした事業。軽体操やゲーム、踊り、手芸等の活動を高齢者自らが積極的に行っています。



●地域ふれあいサロン活動(共同募金配分金事業)

- ・地域自治会が中心となった「ミニ・ディサービス」
- ・高齢者等が地域の中で心豊かに暮らせる支えあい体制づくり活動として市内38自治会で実施



●各中学校区地域保健福祉センターの活動

- ・コミュニティソーシャルワーカーによる相談支援及び福祉支援体制づくり
- ・ボランティア活動や福祉教育の推進
- ・地域活性化を目的としたイベント等々・・・



私がコーディネートします!



市社協のコミュニティソーシャルワーカーは、これらを支える地域住民活動やボランティア活動、多様な支えるための体制づくりなどのお手伝いをより身近な地域で積極的に行う地域福祉の専門職です。